



東広会ニュース

1月号

2006年(平成18年)

Vol.19

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-1-1
ヒューマックス恵比寿ビル8F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5773)6788

E-MAIL info@tokokai.jp

東広会「賀詞交換会」開催される

東広会主催の新年「賀詞交歓会」が、1月6日(金)17時30分からホテルメトロポリタンエドモントで多くの来賓の方々を迎え開催された。会場では別項の挨拶文が配られた(小島紀久雄東日本鉄道東京広告会会長の挨拶概要は紙面掲載の通り)。会場では約340名の会員各社からの出席者が懇親を深めた。

東日本鉄道東京広告会会長 小島紀久雄氏あいさつ

旧年中は、設立2年目を迎えました東日本鉄道東京広告会に格別の御高配を賜り誠にありがとうございます。



挨拶をする小島東広会会長

昨年は、景気回復機運の中で、「交通広告」につきましても市場を拡大することができ、あわせて広告メディアにおける交通広告のポジショニングも向上してきたものと実感しております。これもひとえに各会員の皆様が、積極的な営業活動をされた結果であるものと厚く御礼申し上げます。昨年11月には、交通広告の社会的地位向上と媒体価値向上を目的とした全国組織である社団法人全国鉄道広告振興協会が国土交通省のご理解とご指導を仰ぎ設立されました。当広告会といたしましても積極的に協力して参る所存ですので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年は、これまで推進されてきたしたサインボード販売の透明化に向けた施策が、さらに深度化されてまいります。車両メディアの完全オープン化に引き続き、広告主様にこれまで以上に活用いただけるサインボードを目指し、当広告会一丸と

なつてこの施策を営業活動に反映し、努力して参る所存です。また、一昨年のジェイアール東日本企画と東京メディア・サービスとの広告事業再編の効果により、駅メディアの媒体環境整備もより加速されていくことと存じます。さらには、この一月にJR東日本「モバイルSuica」のサービスが始まり、ますます広がりを見せていくSuicaに対応した広告媒体にも果敢に取り組み、ジェイアール東日本企画と一体となって広告主様に対しまして話題性のある提案を積極的に行つて参りたいと考えております。

「交通広告」は、強制的に視認される可能性が高いメディアであり、また広告接触地点が購買地点に近く、駅から車両、そしてまた駅という連続して広告展開ができるという他のメディアにはない強みを持っています。広告メディアを取巻く環境は、ますます競争が激化するものと思われまが、各会員の皆様と連携をより密にして、東日本鉄道東京広告会の発展のために、あらゆる努力を傾注する所存でございます。

本年も、引き続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝と各社様の益々のご隆盛を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

<2005年度第3四半期実績>

(単位:百万円)

媒体		2005年度 第3四半期	2004年度 第3四半期	前年比
車両メディア	車内ポスター	5,794	5,763	100.5%
	ADトレイン等	273	310	87.8%
	車体広告	386	355	108.9%
	トレインチャンネル	303	211	143.6%
	車両メディア計	6,756	6,639	101.8%
駅メディア	駅ポスター	1,264	1,240	102.0%
	SPメディア	700	672	104.0%
	サインボード	2,267	2,264	100.2%
	フリーペーパーラック ラッピング店舗	200	109	183.0%
	駅メディア計	4,431	4,285	103.4%
	その他 (オレンジカード・調査)	59	73	80.7%
合計		11,246	10,997	102.3%

最も大きく伸びたのが「フリーペーパーラック・店舗ラッピング」。リクルート、学生援護会、求人ジャーナル等新規設置が相次ぎ対前年を大きく上回った。「SPメディア」は11月が対前年マイナスとなったものの第3四半期では前年を上回った。「集中貼り」「SPボード等」「自動改札ステッカー」が上期からの好調さを維持し対前年プラスとなった。新たな展開として、マイクロソフトが新宿駅新南口駅舎上サインボードに巨大恐竜フィギュアを、さらにゲートウェイ

■駅メディアの概況

(第3四半期実績4,431百万円…前年比103.4%)



マイクロソフトサイン
新宿駅新南口

イメディアでは展開期間中にフィギュアがサンタクロースの衣装に着替える展開を行った。また、ネスレジャパンが東京駅イベントスペースBreakでADメディアショップを実施した。「駅ポスター」は、「セット商品」が4月以降、需要にあわせた商品に組み替えられたこともあり対前年を上回ったことにより、「一般枠」は低調であったものの駅ポスター全体では対前年プラスとなった。また、東京駅動輪の広場で電子ペーパーを使った広告ポスター実証実験がおこなわれるなど駅メディアにおける新しい取り組みも着々と進んでいる。



マイクロソフトゲートウェイ
サンタバージョン

東京ミレナリオ開催される

来場者330万人を超える

東京・丸の内を彩る「東京ミレナリオ」が12月24日(土)から1月1日(日)まで開催された。

今回のテーマは「都市のファンタジア」。2005年「日・EU市民交流年」のファイナルイベントと位置づけられた。1999年(平成11年)から毎年開催されているが、今春着手される東京駅丸の内駅舎の復元工事に伴って、今回で一時休止となる。期間中、これまでで最高の330万人を超える来場者があった。7年間の累計来場者は1770万人を超えた。

この「東京ミレナリオ」の開催を記念して、東京ミレナリオ実行委員会はJR山手線でADトレイン「東京ミレナリオ・ギャラリー号」を12月16日(金)から山手線で、30日まで2編成運行した。車体側面には、過去6年間の作品と今年の作品をデザインするとともに、車内のトレインチャンネルではミレナリオの過去の全作品を紹介した。

また、協賛社の日本テレコムは、17日(土)から30日(金)まで京浜東北・根岸線でWVIT2編成を運行した。車内の大型デジタルモニターでは過去の作品などを音声入りで紹介。音声はFMラジオを持ち込み、15分毎に表示される周波数に合わせてBGMを聞くことができた。



2005-2006
9号車



2004-2005
8号車



2003-2004
6号車



2002-
5号

「05年度第3四半期売上」まとまる

「J」企業
 交媒局
車両メディア・駅メディアとも前年同期をクリア

J 交通媒体局の2005年度第3四半期売上がまとまった。第3四半期売上高は11,246百万円で前年比102.3%となった。しかし、第4四半期見通しは厳しく、広告会加盟各社の一層の販売強化が期待される。

■車両メディアの概況

(第3四半期実績6,756百万円・前年比101.8%)

第3四半期に最も売上を伸ばした「トレインチャンネル」は10月からシステム改修を実施しクライアントニーズによりフレキシブルに対応できるようにになったこともあり好調を維持した。「車体広告」も10月にフリーデザインを採用したバイオニア(12編成)の大型出稿等があり第3四半期では前年を上回ったものの11月、12月は前年を下回った。また、マイクロソフトが駅メディアと連動し車体広告を展開した。「ADトレイン」は



車体+ADトレイン 箱根駅伝 (日本テレビ)



ポード

12月に箱根駅伝(日本テレビ)、GAP等の出稿があったものの第3四半期では前年を下回った。新しい取組みとして中央快速線に9月から女性専用車両が設けられ、本年1月から「女性専用車両車体広告」が展開可能になるなど商品の多様性も更に豊富になっている。「新B」「ステッカー」も好調であった。

「3線群中づり・まど上」は11月は対前年プラスとなったものの10・12月が対前年マイナスとなり販売が低調であった。

「東海道/宇都宮・高崎/常磐線」は中づり・まど上ともに対前年プラスとなった。



マイクロソフト 車体広告

ベンチ広告でテレビ番組宣伝
 年末年始の特別番組や新年からの新番組を宣伝するベンチ広告が展開された。

展開したのはフジテレビ。広告付きベンチの背もたれ部分に「フジテレビ」の文字をステッカーを貼付し、ベンチのサインボードで番組の宣伝を行った。サインボード部分にフジテレビの文字を大きく表示しなくても、ベンチ背もたれ部分に大きく表示されているので、目で同局の番組であることを訴求できる。掲出されたのは12月27日(火)~1月15日(日)18駅20箇所。



ベンチ広告 フジテレビ (有楽町駅)



ベンチ広告 フジテレビ (東京駅)



2003年車



2001-2002年 4号車



2000-2001年 3号車



1999-2000年 2号車

事故防止へ各種安全会議・訓練開催

線路近接作業の安全のために
登録23社事故防止会議(1月25日)

線路近接作業等を行う23社を対象にした「登録23社事故防止会議」が東京・池袋の(株)東京メディア・サービス本社会議室で1月25日(水)14時から行われる。

会議では年末年始輸送期間中に行われた安全パトロールの結果等が伝えられる。日頃、線路近接作業を実際に行う担当者に対し安全へのより強い認識を深めるために年4回実施されている。毎回、実例をあげて注意喚起を図り、触車事故・運転事故撲滅のための取組みを行っている。

列車防護の知識を学ぶ
2月15日実車訓練実施へ

広告意匠交換を行う作業員の安全確保を行う作業関係者を対象とした実車訓練が2月15日(水)東大宮訓練センターで行われる。訓練では実際に電車を動かし、電車及び作業員の安全を図るため、信号炎管で緊急停止させる列車防護訓練が行われ、本番さながらの緊迫した雰囲気の中で安全確保に必要な知識を体感できる。

※詳しくは東京メディア・サービス設備管理部安全指導課(☎03-5391-1246)へ。

話題となった中づくり広告

サントリー「伊右衛門」

正月飾りをつけた本物そっくりの暖簾タイプの中づくり特殊ポスターが登場し、正月の挨拶や初詣等にぎわう中、利用客の注目を集めた。

展開したのはサントリーの緑茶飲料「伊右衛門」。これまでも日本の四季を織り込んだ広告を展開しており、今回の中づくりも、写真のように正月飾りをつけている。掲出されたのは12月31日(土)～1月4日(水)(3線群)。



サントリー(株)
緑茶飲料「伊右衛門」中づくり

駅構内作業の安全を図る
安全講習会開催(2月23日～27日)

駅構内で作業を行なう責任者に対する「安全講習会」が、東京メディア・サービス設備管理部安全指導課の主催でおこなわれる。

受講対象者は、広告会社関連の社員だけでなく、駅構内で調査などを行なう係員等幅広いものとなっており、駅構内作業の安全確保のために、今年2回、実施されている。今年度下半期分は、2月23日(木)、24日(金)、27日(月)に開催される。昨年同時期に開催された講習会には約1200名の参加者があった。

東広会会員には1月中旬頃、ご案内が届く予定である。

会員名簿変更

・代表者変更

(株)宣研(12月28日付)

代表取締役 永井秀雄氏

・加入

(株)ケイエムアドシステム(1月1日付)

代表取締役社長 高瀬秀常氏

〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-8-17

電話 03-35984-5551

FAX 03-5992-0551

(社)全国鉄道広告振興協会第1回理事会開催

「社団法人全国鉄道広告振興協会(略称JARRAP)」は、平成17年12月7日(水)東京スアーションホテルで第1回理事会を開催した。

理事会では7支部の支部長及び10委員会の委員長を選出した。

7支部の支部長は次の通り。

北海道支部	千葉 律雄氏
東日本支部	大仁田 智氏
首都圏支部	小島紀久雄氏
中部支部	今村 元氏
近畿・中国・北陸支部	市口 鶴一氏
四国支部	松尾 健二氏
九州支部	上永吉耕志氏

各委員会には副委員長が置かれる。また、各委員会の委員長は次の通り。

総務・財務委員会	間宮 泰三氏
倫理委員会	小牧 渉氏
美観風致委員会	瀧 久雄氏
環境・安全委員会	佐藤 裕紀氏
標準化委員会	永井 秀雄氏
人材育成委員会	牛込 昭洋氏
技術開発委員会	西村 友伸氏
調査研究委員会	下杉 克郎氏
業務近代化委員会	清水 英明氏
PR委員会	今村 元氏

これら各支部には副支部長をおくことができる。

この他、「規則等規約について」等が検討され承認された。